



社会新報 (岡山県連合版)

2016年1月1日

(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL.03-3592-7515 1部180円/月700円/半年

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

2016年平和憲法の危機に 護憲の党の歴史の総力を!

2016年、新年のご挨拶を申し上げます。戦争法廃止のために、夏の参院選・岡山選挙区での野党協力へ市民の熱い期待が高まる。絶対に自公に譲ることがあってはならない。社民党は一昨年来の共同行動を呼びかけ実現を背景に全力をあげる。また、全国比例区では党の存亡をかけた闘いとして全黨員、支持者の皆さんにご支援を呼びかけます。 幹事長 武本恒夫
写真右:19日総がかり行動、下:12日野党協力を応援する市民集会



年頭所感 社民党岡山県連合代表 福島捷美
新年のお慶びを申し上げます。安倍政権は集団的自衛権の行使容認を決め、さらに戦争法を強行可決、防衛費5兆円突破と、まさに戦争体制へと突き進んでいます。その間、民主的な手続きや国民との対話を放置するなど、指導者として欠如している点が多く、強く退陣を求めているものです。

民主主義の原点とはなにか。シールズは「民主主義ってなにだ。これだ!」と国会を取り巻きました。私たち一人ひとりの思いであり、言葉で、行動で変えていきましょう。何と云っても今年夏の参院選挙が山場です。安倍首相は3分の2を取れば改憲に踏み切るといっています。民主主義の力で野望を阻止しましょう。

12月15日午後、雨の中、岡山の女性の仲間たちを中心に取り組み、福島みずほ副党首が市内4ヶ所で街頭に立った。市電から高校生らが降りてくるなか「若者たちの過酷な労働条件の延長線上に本物の戦

岡山の野党協力を支援する市民集会
師走の12日、戦争法廃止、立憲主義をとり戻すため、来夏の参院選岡山選挙区での野党協力を応援する「おかやまいつぼん」市民集会に200名が参加した。
主催者を代表し、長泉寺住職・宮本龍門氏は「安倍政治に反対し、野党協力を市民から支えるには野党が一本にまとまるしかない」と集会の意

味を熱く訴えた。
社民党は「初め民主・共産・維新の衆議員が参加。社民党は宮原常任幹事が発言し「沖縄の積み重ねが大胆に譲り合うことができた。岡山でも昨年から4党合同アピールなど現場の行動に協力の下地がある。社民党は野党協力の接着剤になる」と発言。参加者からは



福島みずほ副党首 市内を駆け巡る
12月15日午後、雨の中、岡山の女性の仲間たちを中心に取り組み、福島みずほ副党首が市内4ヶ所で街頭に立った。市電から高校生らが降りてくるなか「若者たちの過酷な労働条件の延長線上に本物の戦

「社民党の存在感があった」と野党協力を党の役割の期待が寄せられた。(文責・野崎)

お詫び 戦争法廃止の署名返信用封筒の印刷ミスのため、切手なしでは使用できませんでした。ご迷惑をおかけしお詫び申し上げます。 党事務局

定例学習・読者会
「新報」読者会
1月13日(第2水) 18時
弓之町「時事問題懇話会」
1月22日(第3金) 18時
※聞きたい・話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館

2016党県連合新春旗開き

と き 2016年1月31日(日)13時~
ところ 岡山市勤労者福祉センター5F
岡山市北区春日町5-6
I部 講演 「市民運動から原発再稼働阻止へ」
講師 芦原康江氏(松江市議)
II部 懇親会
会費3000円(II部参加)

- ### 12月の党県連合主な活動
- 12/8 世界人権宣言集会参加
 - 12/9 「新報」読者会
 - 12/12 おかやまいつぼん討論集会(宮原)
 - 12/12 ストップ戦争法総がかり行動
 - 12/15 福島みずほ副党首・岡山街宣
 - 12/16 1・2区支部党員会議
 - 12/18 弓之町・時事問題懇話会
 - 12/19 党県連合常任幹事会
 - 12/19 ストップ戦争法総がかり行動 ※12/23党街宣・雨天中止
 - 12/27 1・2区街宣(岡南シネマス前)
 - 12/28 事務所仕事納め
 - 1/4 // 始め
 - 1/16 低線量被曝の健康被害・講演
 - 1/16 ストップ戦争法総がかり行動
 - 1/22 立憲デモクラシーの会シンポ
 - 1/31 党県連合旗開き

新
年おめでとうございます。さて、みなさんは一年の初めをどのように迎えてでしょうか。書初めなどはか昔、(本の)読初めなどは減る危険種となり、いまはスマホでゲム初めか。新年には決まった一冊を読み、新たな発見をするといった先達がいいた▼昨年、直木賞で話題の「お笑い芸人」作家の本も良し、編集子はいまの時期、趣味の古本が目に留まる。いまは珍しい火の見やぐらの「半鐘をたたから火事が起こる。変な演説をするから騒ぎが起きる。」と演説を止めれば天下太平」とものだ▼戦争法などとレッテル貼するから話しがおかしくなる、と安倍政権は正面から答えず説明にも説弁を弄す。「3本の矢」が「新3本の矢」に取り替えられる目くらまし、マスコミ支配で世論づくりな

ど、古くて新しいやり方を見抜く示唆を与えてくれる▼福島みずほは、労働関連法制の改悪で「一気に入らないと金さえ払えば自由に解雇できる法律などつくらせてはならない」(12/15岡山市内)と訴えた▼さて今年、戦後70年の岐路となる選択が問われる参院選が行われる。平和主義・立憲主義を真つ向から否定し、多くの識者が違憲と断じた戦争法が発動されれば、海外派兵の自衛隊が、外国で人に銃口を向け、向けられる危険が現実となる▼「危ない道」と声を上げることは専門家の責務として「安全保障関連法案に反対する学者の会」も立ち上がる▼何よりシールズに代表される若者の発言、行動が新年に希望を確信させる。初夢どころか、新年から「おとそ自分の醒める話」となったが、参院選で戦争法ノー!の代表を、比例区社民党を!、小紙の新たな決意とした。(の)